



# こんな話、地上ではありえない・・・

これは月世界であったホントの話。  
小学校事業

月世界にあるモリト

幼稚園経営のカゴイ氏は小学校事業を計画。

民自党コウノ氏に仲介を依頼。コウノ氏は、中央に話をせよと

繋いだ。

その結果、小学校予定地は九億。更にゴミ処理名目で八億値引き。

一億余りに。

小学校予定地に隣接する土地は市へ十四億で払い下げたのに。

アンベ事務所は

コウノが甘い汁を吸うことになるのを許せないアンベはカゴイ氏に「コウノと手を切れ」

そこで、カゴイ夫妻は「これまのお札」と

コンニャク一枚を持参。

「コンニャクだって!?!」

馬鹿にするな」とコウノ氏は突っ返した。

コウノルートは途絶えたがアンベルトは順調。開校の認可も目途も?やれやれ。

小学校名誉校長にアンベ夫人を

月の議会では

ところが、コンニャクを突っ返して身ぎれいなコウノ氏は月の議会で経過をリーク。

すると余波は色々。

モリト学園の土地は空港会社に国から現物

出資で登記してあったのに「錯誤」として国に所有権を戻し、モリト学園に売却とか。

国全体では獣医師余剰で獣医学科定員増は不可。しかし、規制緩和を口実に、I市で36億の土地をタダで提供。

獣医学部を新設。

皆さんはどう思われますか?

2017.1.20 徹

## 二二八國家紀念館

台湾 台北市中正區

二〇一七年一月



2017.1.20 徹

一九四五年日本の降伏により、台湾は国民政府軍の支配に。一九四七年二月二七日、やみ煙草売りの老女の財産を取締官が没収。それへの抗議に国府軍が発砲。死者が出て全国的な反乱になった。が、国府軍は大陸から大軍を導入して圧倒し戒嚴令を敷いた。その後、選挙なしに国民党による独裁が続いた。

一九八七年の戒嚴令解除で一万八千〜二万八千人が犠牲になったことが明らかになった。

この二二八事件を記念し、二二八國家紀念館が作られた。日本統治時代、台湾教育会が置かれていた建物だ。

この他に、台北市内には二二八和平公園がある。事件の舞台になった旧NHKの建物を市立の二二八紀念館としている。

